

王子総合高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（『高等学校 公共』帝国書院）

教科 公民 の目標： 国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

【知識及び技能】現代の諸課題を考察し、選択・判断するための概念や理論を理解するとともに、情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を考察し、選択・判断するための概念や理論を理解するとともに、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に構想したことを議論する力を養う。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	この単元では、青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき、社会に参画する自立した主体としてのあり方・生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結び付く、みずからのキャリア形成について理解させる。みずからの悩みや体験、個人と他者、対話の重要性などを踏まえた具体的な問いを設定するよう留意する。	第1部 1章 1節 青年期と社会参画 1 私たちの生きる現代社会 2 青年期について考えよう 3 悩むことについて考えよう 4 ジェンダーについて考えよう 5 学ぶことについて考えよう 6 社会参画とキャリアについて考えよう	【知識及び技能】 ①みずからの体験などを振り返ることを通じて、みずからを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。 ②自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、みずからのキャリア形成と共によりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	この単元では、公共的な空間における基本原則としての日本国憲法の考え方の理解に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解させる。思考実験や概念操作といった抽象的な内容が多いため、現実社会を踏まえた具体的な問いを設定するよう留意する。	第1部 3章 1節 社会の基本原則と憲法の考え方 1 近代立憲主義の原理 2 近代立憲主義の広がり 3 日本国憲法 4 平等に生きる権利 5 自由に生きる権利① 6 自由に生きる権利② 7 人間らしく生きる権利 8 広がる人権の考え方 9 人権保障の国際的な広がり	【知識及び技能】 ①各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 ②人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	この単元では、法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、みずからの意見や主張を表現することを通して、法の意義や司法参加について関心を高めさせる。法や社会規範の役割、法の役割の限界、私法に関する基本的な考え方、裁判員制度などを取り扱うが、理念や制度は抽象的な内容になりがちなので、生徒が考えやすい具体的な問いを設定するよう留意する。	第2部 1章 1節 法の意義と司法参加 1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とその課題	【知識及び技能】 法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きにのっとり、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。①現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した法的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	この単元では、さまざまな意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき、よりよい社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通して、政治参加と公正な世論の形成、地方自治等について理解させる。学術的な視点や思索的な視点、あるいは現在のしくみの矛盾点を見いだす視点等から、考察する主題を見つけ出し、具体的な問いを設定し、その解決策を考察・構想できるように支援することに留意する。	第2部 2章 1節 民主社会と政治参加 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 選挙制度とその課題	【知識及び技能】 ①政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 ②現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6

[illegible]